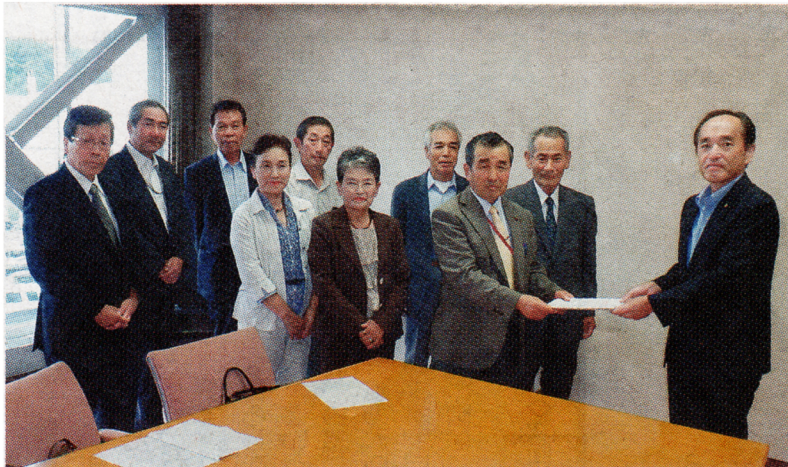


した募集の区割りを設けることを提案。農業委員の任命では、女性や青年、地域などのバランスに配慮を求められている。

農業委員会では、5月に立ち上げた「組織対策検討委員会」を中心に、農業委員と推進委員の定数、推薦方法などについて検討を重ねてきた。今回要望した6項目は、その結論をまとめたものだ。



多々見良三市長への「要望書」を石束会長から堤茂副市長に手渡す

石束会長は「農業委員と推進委員の役割分担や連携方法などについて十分な検討を重ね、来年の新体制移行を円滑に進めていきたい」としている。

(会沢仁史)

「新たな農業委員会制度への要望」

舞鶴市農委会 市長に提出

京都

【京都】舞鶴市農業委員会（石束輝三会長）は9月28日、「新たな農業委員会制度への要望」を市長に提出した。

要望には、農業委員会の

立場から「地域の実態にあった制度の運用」を提案するため、委員定数や制度周知・募集方法など6項目の内容を盛り込んだ。

具体的には、農業委員定

数は上限19人、農地利用最適化推進委員定数は同24人程度とし、制度周知に努めることや、推進委員報酬を適正に定め、旧村を基礎に

具体的には、農業委員定